

景観配慮協議結果通知書

鎌倉景第377号1  
令和4年（2022年）6月30日

株式会社システムハウスアールアンドシー横浜営業所  
所長 吉田 尚孝 様

鎌倉市長 松尾 崇



次のとおり通知します。

景観協議番号	第 4-11 号
土地利用類型 の 名 称	丘陵住宅地、一部緑地
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 外
行 為 の 場 所 ( 地 名 地 番 )	鎌倉市腰越1535番1、1539番2、 津1030番3、1030番4、1035番35、1035番36
行 為 の 種 類	建 築 物 <input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転
	開 発 <input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 ( <input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区 ) <input checked="" type="checkbox"/> 外
協 議 事 項	<p>&lt;地区の特性・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤の整った低層の計画住宅地を主体とし、開発後の歳月を経て庭木などが育ち、背景の山並みと調和した緑豊かな住宅地景観を形成している。</li> <li>・最近では敷地の細分化などの問題もあり、現状の良好な住環境の保全が課題である。</li> </ul> <p>&lt;景観形成基準に係る協議内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の外壁は基準内の色彩となっている。</li> </ul> <p>以上のことから、当該景観配慮協議対象行為は鎌倉市景観計画を理解した上で計画されているものである。</p>
備 考	